

日本太鼓について

富士こども園では「音体教育」に取り組んでおります。

昨今の子どもたちの「育ち」について、また、子どもたちの言葉の中で、「姿勢が悪い」「根気がない」「飽きやすい」「興味を示さない」「すぐに、疲れる・しんどいと言う」等々・・・様々な要因からこのような姿が見られると言われてしています。

音体教育の「音」とは、音楽教育を示し、リズムあそび・歌・表現あそび・合奏、そして日本太鼓やマーチングなどの指導をすること。

そして、「体」とは、正しい姿勢や歩き方、はっきりとした言葉等をもとに、心と体をひとつにした教育を言い、基本の動作（日本太鼓でいうと、気をつけ、構え、ばちのふり等）や、ゆうぎ、表現あそびを中心に指導致します。

音体教育は、子どもたちの心と体を最も機能的に発達させ、こうした指導によって子どもたちが持つ無限の可能性を高め、健全に育つように、というものです。（『たたくまい教育』とも言います。）

日本太鼓の指導を通して、集中力・意欲・持続力や忍耐力・判断力、また友達と協力しながらの人間関係の充実等を養っていきたいと思います。

指導当初、子どもたちにもいろいろと戸惑いや緊張感があるかと思いますが、音楽的な要素で「できる・できない」ではなく、個々の子どもたちがのびのびと表現する姿を指導者また保育者さらに保護者の皆様方と暖かく見守っていきたくと思っています。